



国際ロータリー第 2670 地区

高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



Weekly Report 2014-2015

創立	1969年4月14日
承認	1969年4月23日
チャーターナイト	1969年11月9日
発行	IT・広報委員会

会長	野岸	口	一	臣
幹事	長	田	憲	明
副会長	エレクト	家	敏	弘
副幹事	古	原	陽	介
S.A.A	鏡	原	良	則



今週のプログラム	第 2226 回	4 月 10 日
客話「コンベンションビューローとは～サミットを目指して」高松観光ンベンションビューロー専務理事 今井邦郎様		
担当者	野口会長	例会場
		JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2225 回	4 月 3 日
花見家族例会・地区研修協議会報告(古家会長エレクト)		
担当者	親睦活動家族委員会	例会場
		栗林山荘



野口会長報告



古家会長エレクト報告



故 木村DPGを偲んで



加藤ガバナー補佐より

会長報告

今宵は花見、家族例会です。生憎の雨ですが3月29日永眠された故木村大三郎パストガバナーの死を悼むかのような涙雨のごとしです。会場に遺影を設えました。まず黙祷致します。黙祷・・・

先日の告別式は大勢の方が参列されていました。私が体験した葬儀では最も参列者が多かったですね。それだけ生前の付き合いが広く人望のあつた方と言えるのではないのでしょうか。私たち高松西ロータリーにとってもガバナー輩出クラブという栄誉を授けてくれました。また「人生苦しい時こそ頑張る」という教えを身をもって示されました。感謝に耐えられません。まるで宝物を失ったような寂しさです。どうか安らかに眠り下さい。また改めてご遺族と相談させて頂き偲ぶ会を計画したいと思っています。

続いて先日徳島で開催された地区研修協議会を古家次期会長に報告願います。



出席報告		出席委員長：鈴木雅博	
会員数 /	46名	出席規準数 /	44名
出席者数 /	25名	欠席者数 /	19名
出席率 /	56.82%	ビジター /	0名
最終出席率 /	3月20日	67.444% →	88.64%

4月10日 今日は何の日	今日生まれの有名人
インテリアを考える日・メガネ供養・ヨットの日	1976年 赤星憲広 1936年 和田誠
1928年 日本商工会議所設立	1952年 さだまさし 1933年 永六輔
1959年 明仁皇太子と正田美智子さんが結婚	1939年 水島新司 1909年 淀川長治
誕生花	紫詰草、花言葉は“快活”
誕生石	クリスタル(crystal)、宝石言葉は“純粋”

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれまわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン

例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日：毎週金曜日 12:30～13:30 (第1例会のみ 18:30～19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバトリーダーが必要です)

<http://www.88club.com/rc/2014pdf/04-10.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

メイクアップ

- 3月29日 地区研修協議会 古家 低田 加藤 江島 鏡原 磯崎
堀井 金光 遠藤 木内 泉 松下(幸)
- 3月31日 高松中央RC 山崎 松下(浩) 江島 伊藤
- 3月31日 上野RC 池上
- 3月31日 坂出RC 浅原 福本 岡村
- 4月 1日 高松南RC 泉 岡田
- 4月 2日 高松グリーンRC 松下(浩)

例会変更

- 4月 8日(水) 高松北RCは18:00「神明殿・花見家族会」に変更
- 4月 8日(水) 善通寺RCは4月7日(火)18:30「観音寺東RC合同お花見夜間例会・観音寺グランドホテル」に変更
- 4月14日(火) 丸亀東RCは4月12日(日)「第2回丸亀東RC杯少年剣道大会・サンビレッジ土器川」に変更
- 4月22日(水) 高松南RCは「創立記念日例会・栗林公園掬月亭」に変更
- 4月22日(水) 坂出東RCは「春の賞味会・坂出グランドホテル」に変更

ロータリーの特別月間 (Special Months in Rotary)

4月 雑誌月間 (Magazine Month)

RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(『ロータリーの友』など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された、『ザ・ナショナル・ロータリアン』(1912年に『ザ・ロータリアン』に改称)が発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としていました。『2007年手続要覧』の「ロータリークラブ定款」の「第14条 ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌、またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では『ロータリーの友』)を購読しなければならない、と定めています。

ロータリーの雑誌を分かち合おう



GARY C. K. HUANG
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

親愛なるロータリアンの皆さん、今日、コミュニケーションをとる方法は、かつてないほどたくさんあります。テレビ会議やインスタントメッセージの時代において、私たちは、おおむねどこにいても共に活動することができ、また、ロータリーの活動を

フェイスブック、ツイッター、国際ロータリーのウェブサイトから知らせ合って、常に連絡を取り合うことができます。しかし、皆さんがまさに今、手に持っている、あるいは電子端末で読んでいる雑誌は、これからもとても大切な役割を担い続けていくことでしょう。

多数のノーベル賞、ピューリッツァー賞受賞者が執筆

『The Rotarian』は、世界で最も古くから出版されている雑誌の一つで、1911年、ポール・ハリスの寄稿文を集めて創刊し、以来、休刊することなく出版されています。当時、その雑誌はモノクロ印刷で、ほんの数ページのものでした。活字は小さく、写真もほとんどなく、広告はピアノ業者や紳士用品店、そして給水・給湯が完備されたホテル1軒でした。

現在、『The Rotarian』はスマートフォンやタブレットで読むことができ、地域雑誌は24の言語で発行されています。この雑誌にはデズモンド・ツツ、ジョージ・バーナード・ショー、ニコラス・マレー・バトラーをはじめとする17人のノーベル賞受賞者、19人のピューリッツァー賞受賞者が執筆しています。毎月、『The Rotarian』は、ロータリー世界の最良の寸描を私たちに届けてくれます。それは絆であり、楽しみであり、啓蒙(けいもう)であり、刺激であります。

今の時代の雑誌の役割

恒常的に通信が行われ、新たな情報を得る手段がいくらかでもある時代に、今なおロータリーの雑誌は必要なのでしょうか？ 絶対に必要です。それは雑誌がこれまでそうだったように、今なおロータリーについての言葉を広めるのに最も良い方法の一つだからです。雑誌は私が数々のロータリーデーの楽しさや興奮を皆さんと分かち合うことを可能にし、世界中のロータリアンの素晴らしい活動を掲載し、私たち全員に関係のある重要な問題に焦点を当てます。『The Rotarian』はロータリアンだけが楽しめるものではなく、ロータリーの公共イメージを広め、ロータリアンが行う活動を世界に示す素晴らしい方法なのです。

ですから、この号を皆さんが読み終えたら、誰かに差し上げてください。今月号の記事に、特に興味を持ちそうな人は誰かを考えてみてください。友達、仕事仲間、同僚に渡しましょう。ロータリークラブの例会に誘ったことがある人と分かち合ってください。www.therotarianmagazine.comを訪れて、ソーシャルメディアで話を分かち合ったり、Eメールでリンクを送りましょう。ロータリアンが100年以上続けてきたように、ロータリーに輝きを与えるために利用しましょう。

次週のプログラム

第 2227 回

4 月 17 日

客話:「出席率向上の秘訣を聞く」 高松RC 中井今日子様

担当者 野口会長

例会場 JRホテルクレメント高松